【UPS キャリーバッグ
ポータブル蓄電池:7000Wh】
取扱説明書

目次

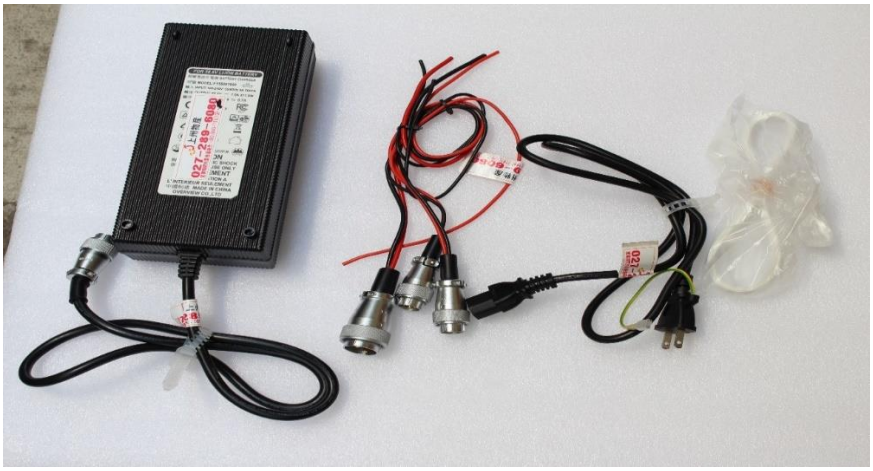
・使用前確認
・メーカー取扱説明書
・返却梱包手順
・PP バンドの使用方法

UPS キャリーバッグポータブル蓄電池:7000Wh

作動確認方法

※蓄電池は、整備時に満タンまで充電しています。しかし、保管期間中や配送期間中に漏電してしまう可能性が０ではございません。なので、レンタル商品が到着したらすぐに蓄電残量チェックを行ってください。

１．



付属ケーブルと返却用の PP バンドがすべて揃っているかを確認してください。
返却用 PP バンドはご返却時まで保管をお願いいたします。

２．

本体の出力口に電気製品を接続します。
「ON/OFF スイッチ」を ON にすると放電が始まります。
ディスプレイが表示されるか確認してください。

【DC 電源について】

DC48V/20A 出力：直流 48V 機器への給電ができます、最大電流は 20A です。
DC24V/10A 出力：直流 24V 機器への給電ができます、最大電流は 10A です。
DC12V/10A 出力：直流 12V 機器への給電ができます、最大電流は 10A です。

【ご使用上の注意】

過電圧：蓄電池本体を充電時に電圧が 60V を超えたら入力が自動的に切断されます。
低電圧：DC 出力時、電圧が 42V 以下になったらアラームが鳴り、出力が遮断されます。
過電流：DC 出力時、電流が 10A 以上になったら出力が遮断されます。
過温度：温度が 75° C 以上になったらシステムにロックがかかり、ファンが作動し温度が下がるまで出力が遮断されます。
過負荷：3000W 以上の負荷がかかるとロックがかかり、アラームが鳴り負荷が遮断されるまで出力が停止します。
出力短絡：ロックがかかり、アラームが鳴り出力が停止し、負荷が遮断されます。
【復旧方法】保護機能が作動した場合は出力スイッチを切ってください。
再起動で出力は復帰します。

充電ができるかどうかの確認をしてください。
「DC/ソーラーパネル入力」へ AC アダプターとケーブルを接続します。
その後、ディスプレイに電池残量などが表示され、充電が始まります。

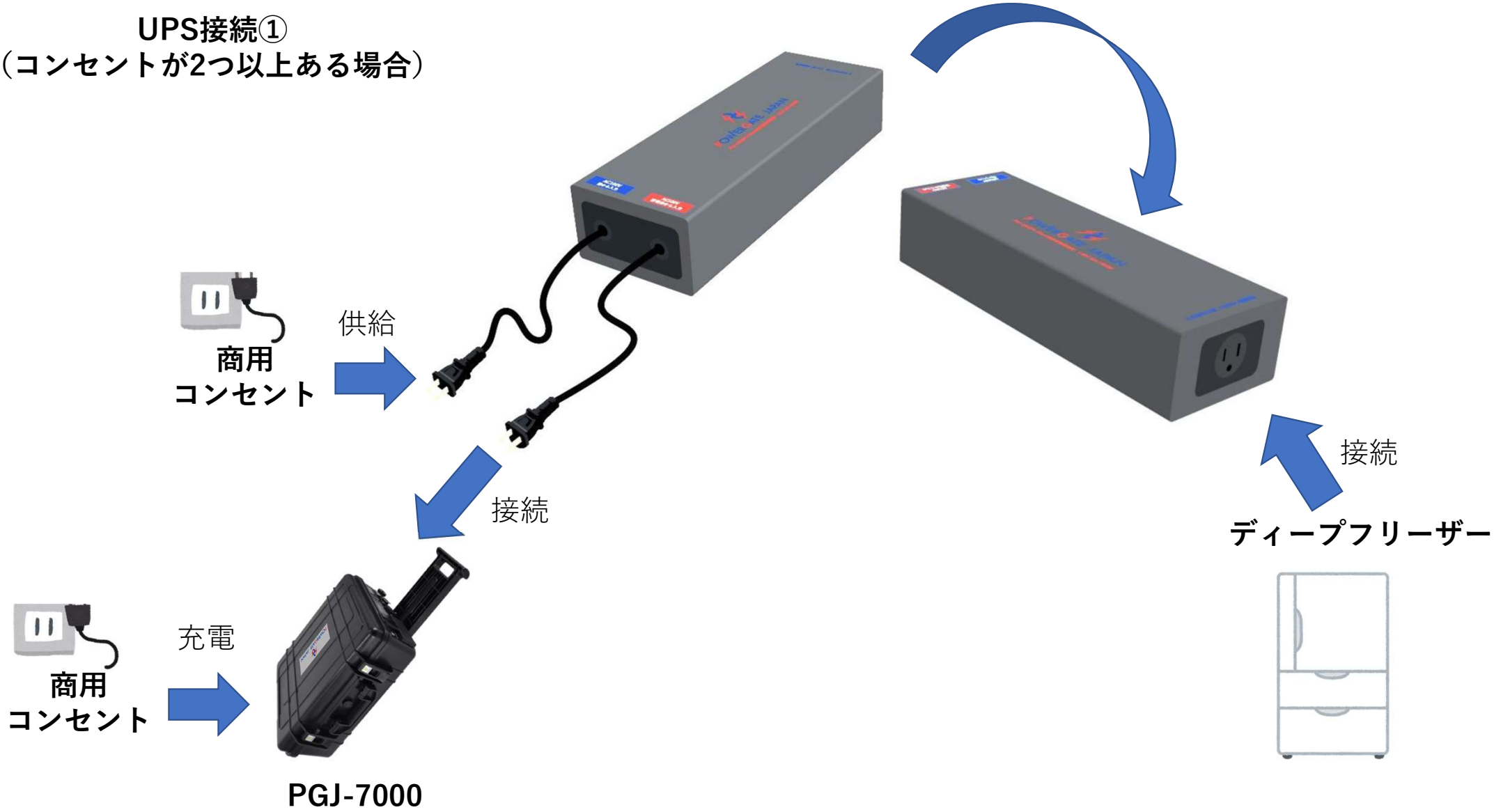
UPS アダプターの使用方法

「AC100V 壁から入力」の
コンセントを家庭用
コンセント口に差し込んでください。

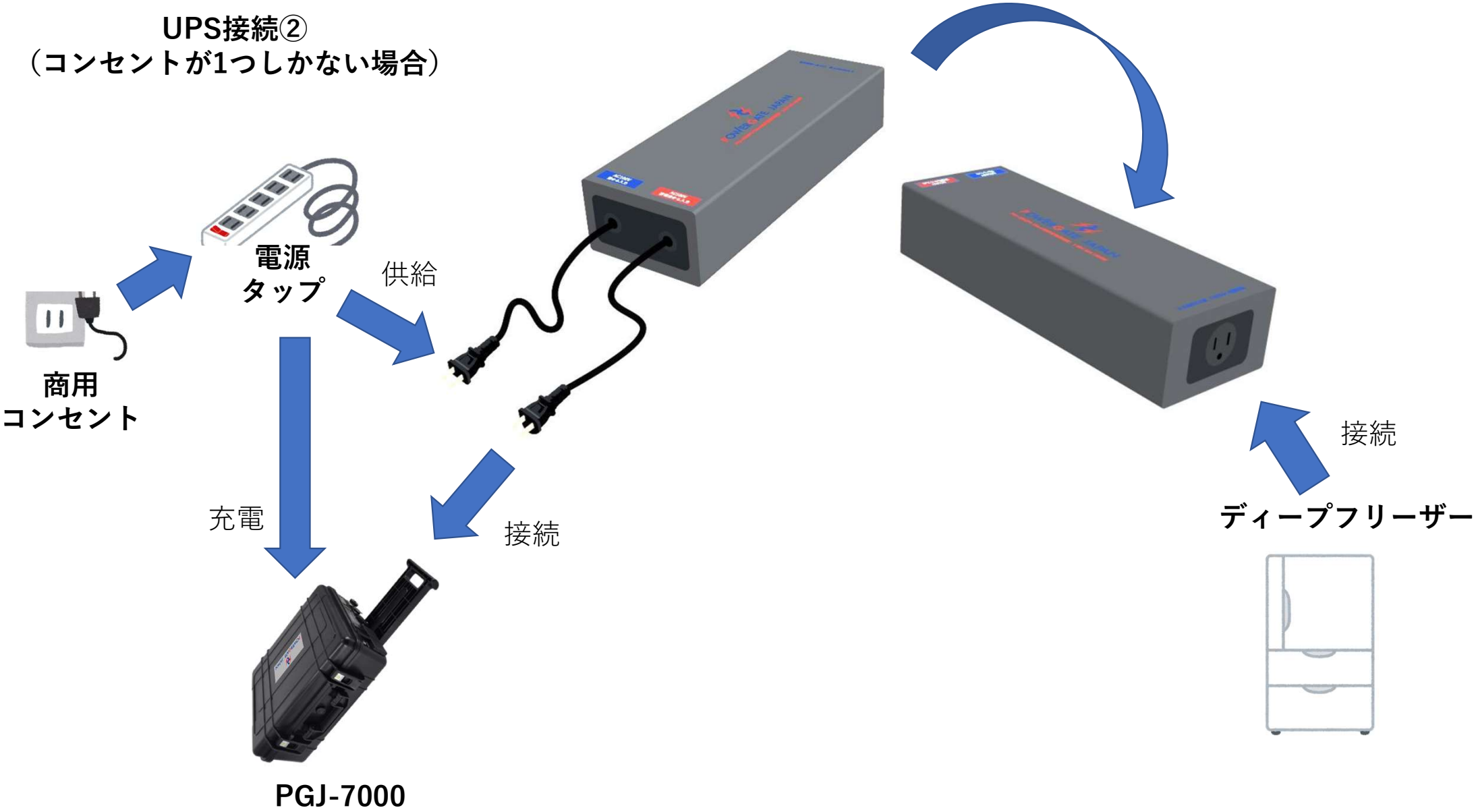
使用する電気機器のコンセントを
「電気機器へ出力口」へ差し込んでください。

「AC100V 蓄電池から入力」の
コンセントを蓄電池本体の
「AC100V 出力口」に差し込んでください。

UPS接続①
（コンセントが2つ以上ある場合）



UPS接続②
（コンセントが1つしかない場合）



AC-DC ポータブル大容量蓄電池

品番 **PGJ-7000**

取扱説明書

目次

2-5 安全上のご注意
6 使用上のご注意
7 製品概要
8 製品仕様
9 保護機能
10 各部の名称と動き
11 AC充電の仕方
12 AC電源の使い方
13 DC電源の使い方
14 USB Portの接続法
15 故障かなと思ったら･バッテリ廃棄について
16 アフターサービスについて

■ この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保存してください。

■ 保証書は必ず「販売店/購入日」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

付属品をお確かめください

・PGJ-7000 本体
・AC/DCアダプターとケーブル
・DC12/24/48V出力プラグ
・取扱説明書

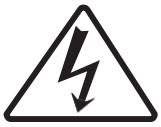
安全上のご注意

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、かならずお守りください。

警告	■ この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	■ この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

■ この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。


高圧注意

接触禁止

プラグをコンセントから抜く

警　告

■ 電源コードや電源プラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

・電源コードや 電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
・重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにしてください。
・電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
・電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにかならず 電源プラグを持って抜いてください。
・使用中に煙や発火現象等が起きた場合は、速やかに使用を停止して下さい。消火器で消火して下さい。爆発を防ぐため、水で直接消火しないで下さい。

禁止

安全上のご注意　（つづき）

■ **分解や改造を絶対しない。**
火災や感電の原因となります

分解禁止

■ キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。

■ 金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

■ 通風口などから金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだりしないでください。

■ 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類 (安全ピンやヘヤピンなど) を置かないでください。

■ 水がかかるような場所では絶対使用しないでください。
本製品は防雨仕様です。

水場での使用禁

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因になります。

接触禁止

高圧注意

■ 指定された電源電圧以外の機器は使用禁止。

■ 可燃物の周辺で使用しない、火災やけがの原因となります。

■ **医療機器には絶対に使用しないでください。**
医療機器や使用上生命に関わるような機器では
絶対に使用しないでください。

禁止

■ 設置場所や取り付けには気を付けてください。
なるべく水平で安定した場所で使用してください。
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

※お客様による修理は、しないでください。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください設置場所や取り付けには気を付けてください。

⚠ 注　意

■ 通風口をふさがない。
本機の通風口（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

■ 密閉したラックの中に入れないでください。

■ じゅうたんや布団のような柔らかいものを上に置かないでください。

■ 布団や毛布や布をかけないでください。

■ 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。

■ 本機の設置は壁から 10cm 以上の間隔をあけてください。

■ 温度や湿度が高いところや湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところ
塩害や化学性ガスの影響を受けやすいところに置かないでください。
火災や感電の原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

■ 次の場合は電源をコンセントから抜いて行ってください。
・電源コンセントや電源プラグを点検する場合。
・本機を移動させる場合(この場合は、接続コードなどもはずしてください)

■ プラグからコンセントを抜く
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ぬれ手禁止

安全上のご注意　（つづき）

■ ときどき電源コンセントや電源プラグの点検をしてください。
ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。破損したりしている場合は、特に危険です。

■ 思わぬ事故を防ぐために下記の確認をしてください。
・使用前に電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
・コンセントやプラグに異常がないかを確かめる。
・完全に電源を切るには、バッテリー電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
・電源を切っても、待機電力が使われています。

注意

■ **異常時の処置**
次のような症状が見つかったらプラグをコンセントから抜いてください。
・異常な音や臭いがする、煙が出ている。
・内部に水や異物が入った。
・本機を倒した、一部を破損した。
・正常に動作しない。（動作が不安定など）
・電源コードや電源プラグに傷がある。

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

プラグをコンセントから抜く

※直ちに、バッテリー電源スイッチを切って電源コードをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。

使用上のご注意

⚠ 注　意

■ 外部機器を本機に接続する際は、必ず本機の電源を切り接続してください。

■ 本器の定格出力(3000W)を超える電力を使用する機器を接続しないでください。
負荷保護機能が働き、給電が遮断されます。また、モーターを有する機器では、
消費電力の数倍の電力を使用することがあり、定格以下の機器であっても正常に作動しない場合があります。

■ 充電する際は周辺の温度が−20～60度Cの範囲内で使用してください。範囲外の温度での充電ではバッテリーの性能および寿命の低下を招き漏電や火災、爆発の原因になる場合があります。

■ 本機の保存温度は-20～60度Cの環境で保存してください。自然放電を最小限度にします。

■ 短期間でも本器のバッテリーを完全放電した状態では放置しないでください。
バッテリーの性能および寿命を低下させるとともに満充電することが出来なくなります。

■ 使用しない場合でも1年に1回は点検し、満充電されているか確認してください。
バッテリーが満充電されていない場合は、性能を十分に発揮することが出来ない可能性があります。

■ 本器を重要な事業用・公共用機器・計測器などには絶対に使用しないでください

■ 本製品は過負荷を接続した状態や、小負荷状態での使用はなるべく避けてください。
一般的には定格容量の60%-80%の接続にして下さい。

■ 湿気の多い環境或いは水中で本製品は使用できません。湿気に注意し、通気性の良い環境下で使用して下さい。

⚠ 注　意

免責事項

■ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、その他外部要因による故障および損傷によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■ 本書に記載の内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■ 本機の使用および他の接続機器との使用または使用不能から生じる損害（事業中断、逸失利益など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

製品概要

本製品の特徴

本製品は「安心･安全･高性能で環境に優しい」をコンセプトに設計されたポータブル電源です。

● 携帯式多機能移動電源はコードレスタイプの交/直流電源装置で、安全な日本ブランドリチウム電池とインバーターを搭載し、軽量で容量が大きく、大出力を備えております。

● 過電圧･低電圧･過電流･過温度･過負荷・出力短絡への保護機能を搭載しており、オーバーススペック時にも安心、安全にご使用いただけます。

● 携帯式多機能移動電源は、スマートフォン･衛星電話･DVD･デジタルカメラ･タブレットとPC･LEDライト･戸外照明･取水ポンプなど多くの電化製品の電源を確保することができます。

● リチウムイオン電池はPanasonic製 18650を採用。エネルギー密度が高く1000回以上の充放電でもバッテリーパフォーマンスは約70％確保します。また、安全性、安定性、耐久性にも優れています。

●自動消火システム搭載、機器内の温度が170度に達すると、安全システムが作動して機器内を**自動消火します**。（特許出願中）

● 自動で電池残量を計算し、LCDディスプレイが1単位で正確に電池残量を表示します。

● PGJ-7000の電池容量は6961.92Wあり電力量の大きな機器にも対応します。

● 家庭用AC100V充電のみならずソーラーパネルでも充電ができます。また、充電中でも給電することができます。

製品仕様

	技術データー	**品番　PGJ-7000**

1	継続出力	3000W
2	最大出力	6000W
3	電池タイプ	Panasonic 18650 リチウムイオン電池
4	電池容量	51.8V/134.4AH 6961.92WH
5	AC充電	DC58.8/7A　電源アダプター　PSEマーク付き
6	充電時間	約17時間
7	太陽光充電コントローラー	PWM内蔵
8	太陽光充電	48V/6.25A
9	太陽光充電電圧入力範囲	12~60v
10	AC出力及び出力口	100Vx2
11	出力周波数	50Hz
12	出力波形	純正弦波
13	DC出力及び出力口	USB5V/2Ax2 12V/10Ax1 24V/10Ax1 48V/20Ax1
14	動作環境温度	-20度C～65度C
15	動作環境湿度	0%～90%結露なきこと
16	保護機能	過電圧・低電圧・過電流・過温度・過負荷・短絡
17	LCD表示	電池残量・電圧残量・満充電までの時間・放電持続時間
18	散熱方式	ファン空冷（内部温度が75度Cを超えた場合）
19	製品寸法	560 x 450 x 240mm(本体200＋ハンドル40mm)
20	本体重量	43Kg

※製品の仕様に関しましては一部変更になる可能性があります。ご了承ください。

注意

保護機能

AC/DC入出力			
項目		データー	作動
1	**過電圧**	≧60V	電圧が60Vを超えたら入力が自動的に切断されます
2	**低電圧**	≦42V	電圧が42V以下になったらアラームが鳴り、出力が遮断されます
3	**過電流**	12V/48VDC≧10A	電流が10A以上になったら出力が遮断されます
4	**過温度**	≧75	温度が75°C以上になったらシステムにロックがかかり、ファンが作動し、温度が下がるまで出力が遮断されます
5	**過負荷**	＞3000W	3000W以上の負荷がかかるとロックがかかり、アラームが鳴り、負荷が遮断されるまで出力が停止します
6	**出力短絡**		ロックがかかり、アラームが鳴り出力が停止し、負荷が遮断されます
Note	保護機能が作動した場合は出力スイッチを切ってください。再起動で出力は復帰します		

⚠ 注　意

高温度時の空冷ファン

本機の内部は、非常に高温になります。空冷ファンが適正な冷却装置として作動しないと過熱保護回路が起動し、機能が停止します。動作温度75°C以上になるとファンが回り45°Cになるとファンは停止します。重要な機能ですから、絶対に通風口を塞がないようにしてください。

各部の名称と動き

	名称	機能説明
①	USB出力 5V/2A	5V 2Aの電気が流れます。携帯電話の充電にご利用ください。
②	LCDディスプレイ	バッテリーマークは容量残量です。 37％は残量のパーセンテージ表示です・50.6vはバッテリーの電圧残量です。 **充電中の表示**→21wは充電電力で44.9Hは満充電までの時間です。 **放電中の表示**→21wは放電電力で44.9Hは電池切れまでの時間です。
③	AC出力スイッチ	AC ON/OFFの切り替えスイッチです。このスイッチを押すと、LCDモニターが点灯し電源の余剰電気量などを表示します。同時に100V交流出力が機能します。不要な場合は切って下さい。
④	DC/ソーラーパネル入力	AC/DCアダプターとソーラパネルからの入力口です。
⑤	DC48V/20A出力	直流48V機器への給電ができます、最大電流は20Aです。
⑥	DC24V/10A出力	直流24V機器への給電ができます、最大電流は10Aです。
⑦	DC12V/10A出力	直流12V機器への給電ができます、最大電流は10Aです。
⑧	DC出力スイッチ	DC ON/OFFの切り替えスイッチです。このスイッチを押すと、LCDモニターが点灯し電源の余剰電気量などを表示します。同時に直流出力が機能します。不要な場合は切って下さい。
⑨	AC100V出力	交流100V機器への給電ができます。

AC充電の仕方

■ AC100V 50/60Hzからの充電
付属の充電器(アダプター)を使って充電します。

ACアダプターと
ケーブル

1 「**DC/ソーラーパネル入力**」へACアダプターと付属のケーブルで接続し、アダプターの片方のケーブルを100V電源に接続します。

2 自動的にＬＣＤが点灯し電池残量などが表示され充電が始まります。

ＬＣＤディスプレイのマークは電池残量を示しています
隣の37％は電池残量のパーセント表示で、50.6vはバッテリーの電圧残量です。
下の21wは充電電力で、44.9Hは満充電までの残り時間です。

3 電池残量ディスプレイが100％(満充電)になったら接続ケーブルをはずしてください。

禁止

■ 付属されているACアダプター以外のもので本機と電源をつながないでください。
また、本機以外の製品では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

⚠ 注　意

■ 充電時間は、PGJ-7000は約17時間必要です。

■ 電源タップはアース付きのものを使用してください。

■ 本機を使用しない場合でも半年に１回の充電を推奨します。

AC電源の使い　AC100V/50Hz

1 本体の「AC100V出力口」にUSBポート、電子機器、電気製品などを接続します。

2 「AC出力スイッチ」をONにします。
※電池残量などが表示され、放電が始まります。

ＬＣＤディスプレイのマークは電池残量を示しています
隣の37％は電池残量のパーセント表示で、50.6vはバッテリーの電圧残量です。
下の21wは放電電力で、44.9Hは電池切れまでの残り時間です。

3 放電が終わったら「AC出力スイッチ」をOFFにして接続ケーブルをはずしてください。

⚠ 注　意

■ 本機の定格出力は3000W　100V/50Hzです。使用する前に必ず電子機器や電気製品の定格を確認してください。定格を超える機器を使用することはできません。

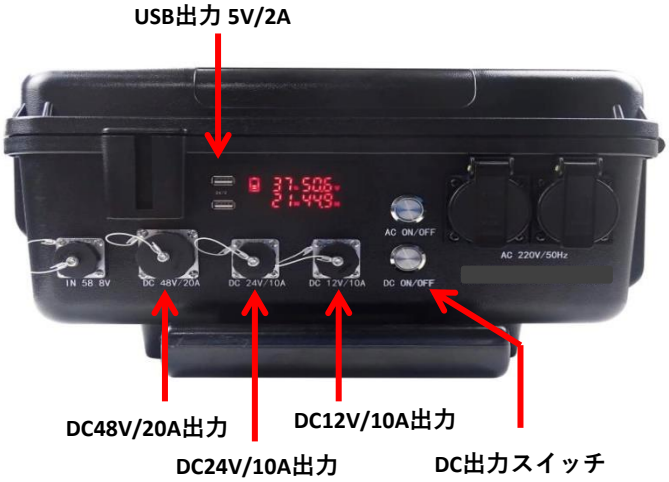
■ モーターなどのコイル成分を持った機器は瞬間的に定常的に流れる電流の10倍程度の電流がながれることがあります。

■ 使用後出力口は、付属の樹脂カバーを必ずかけてください。

■ 間違って過負荷保護機能が働くような機器を接続した場合、一旦電源スイッチをOFFにした後、再起動してお使いください。
※ 不適合な機器を使用すると、本機にダメージを与えることがあります。この場合、保証が適用されない場合があります。

■ 電源の使用を停止する場合、必ず「AC出力スイッチ」を切って下さい。そうしないと本機の電源がエネルギー消耗モードになり、溜め込んだ電気を消費します。

DC電源の使い



1 本体の「DC出力」口にそれぞれのボルテージの機器をつなぎます。

2 DC出力スイッチをONにします。
※電池残量が表示され、放電が始まります。

ＬＣＤディスプレイのマークは電池残量を示しています
隣の37％は電池残量のパーセント表示で、50.6vはバッテリーの電圧残量です。
下の21wは放電電力で、44.9Hは電池切れまでの残り時間です。

3 使用するDC機器の電源をONにしてください、放電が始まります。

4 放電が終わったらDC出力スイッチをOFFにして、接続ケーブルをはずしてください。

⚠ 注　意

■ DC12Vと24Vの直流出力を使用する場合
直流負荷の電流は10A以下でなければなりません。

■ DC48V直流出力を使用する場合
直流負荷の電流は20A以下でなければなりません。

■ 使用後は必ず付属しているカバーをかけてください。

■ 電源の使用を停止する場合、必ず「DC出力スイッチ」を切って下さい。そうしないと、本機の電源がエネルギー消耗モードになり、溜め込んだ電流を消費します。

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、下の表でチェックしてください。
それでも不具合や異常があるとき、本製品を廃棄する場合は、販売店もしくはオーバービューサービスセンターにお問い合わ願います。

症状	チェック項目
AC出力が出ない DC出力が出ない	バッテリー電源スイッチは入ってますか？ バッテリーは充電されていますか？バッテリ残量を確認し、充電してください。
AC出力が出ない	保護回路が作動している可能性があります。 交流スイッチを切って再起動してください。
充電ができない	ACアダプターが差し込まれていますか。 ソーラーパネル接続は間違っていませんか。

バッテリーの廃棄について

⚠ 警　告

■ 本製品内にはリチウム電池を使用しておりますので、火元から離し、直射日光を避け、清潔に保って下さい。もし電源の使用寿命が来たら、再び使用せず、処理方法を確認し、勝手に捨てないで下さい。

または

■ このマークは小型制御弁式鉛蓄電池のリサイクルマークです。
本製品には鉛蓄電池が内蔵されていますので、一般資源ゴミとしての廃棄はできません。

■ 本製品を廃棄する場合は、販売店にお問い合わせ願います。

アフターサービスについて

■ 保証書（別に添付してあります。）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。保証書と製品本体後面の製造番号をお確かめください。

■ 製品の保証期間証期間はご購入日から 1 年間です。

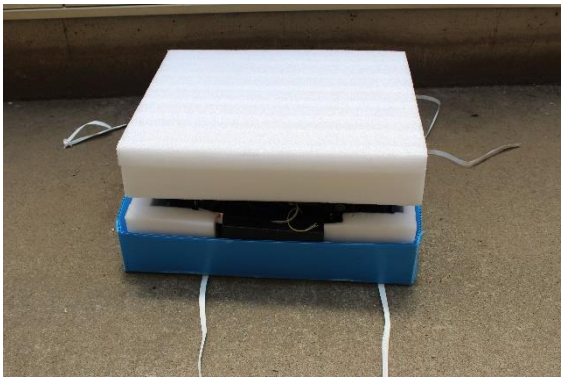
■ 修理サービスについて
保証期間中は保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきます。
・保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容
・ご住所・ご氏名・お電話番号・E-mail
・製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げの販売店名
・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ アフターサービス等について、おわかりにならないとき
アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

免責事項
■ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、その他外部要因による故障および損傷によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
■ 本書に記載の内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
■ 本機の使用および他の接続機器との使用または使用不能から生じる損害(事業中断、逸失利益など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

【UPS キャリーバッグポータブル蓄池:7000Wh】
返却時の梱包手順

1		・パレットの上に下箱を乗せます。 ・下箱の下に PP バンドを２本引いてから本体を置きます。
2		・本体に発泡スチロールを被せます。 （上箱に発泡スチロールが付いている場合もございます。）
3		・上箱を被せて PP バンドで留めて完成です。 PP バンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。
4		備品の収納 ・本体とは別の梱包箱に AC アダプター・AC 用ケーブル・DC 用ケーブル・UPS 用アダプターを収納します。 ・取扱説明書も一緒に収納してください。

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。

返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。

梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。

梱包時ＰＰバンドの使用方法

①

輪をつくる。

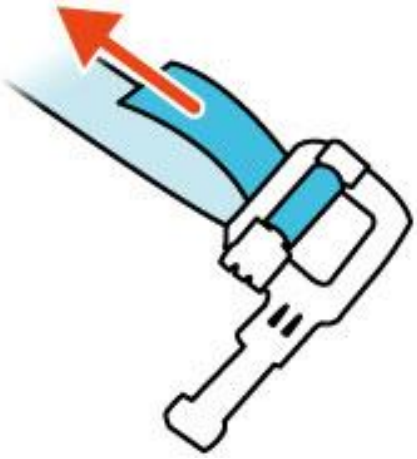
②

つくった輪をストッパーに通す。

③

１本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤

荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥

ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。